

そーと、そーと3人のお部屋をのぞいてみましょう。  
 「ねえぞらちゃん、食べた後のゴミをちゃんと捨ててよ」  
 食器洗いをしながら、うみくんが言いました。  
 「えー、ペットボトルや缶を分けるのめんどろなだもん。  
うみだってテレビゲームの電源つけばなしじゃない!!」  
 と、お洋服えらびに夢中のぞらちゃん。  
りくちゃんは、今日も環境についてお勉強中です。

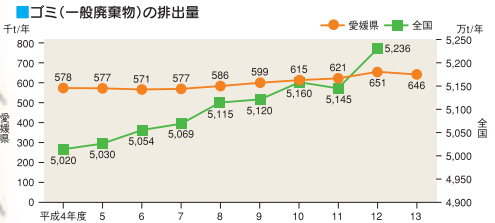


**注意 2**  
 エアコンはつけばなし。  
 設定温度のめやすは知ってるのかな?

**3人の身近にある環境の問題を考えてみましょう。**

**注意 1 ずっと増え続けたごみ。地球がごみで埋まっちゃう?**

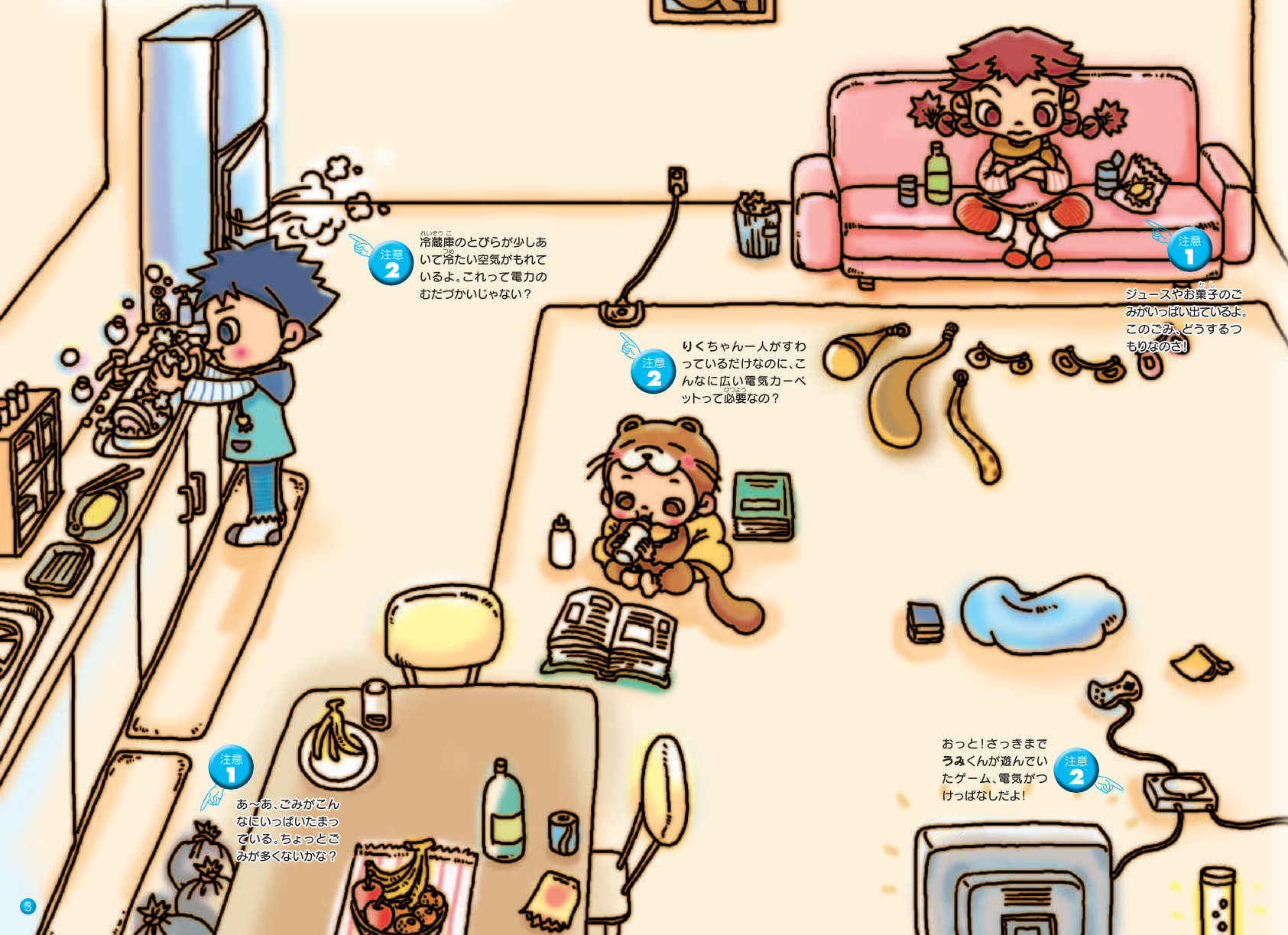
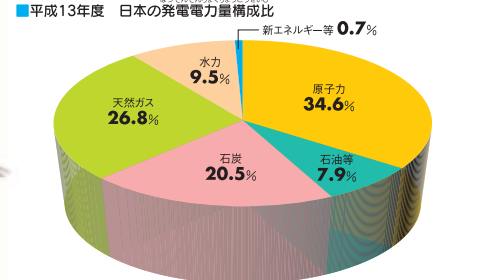
人間の生活は「ごみを作る生活」です。ごみは家庭などから出る一般廃棄物、会社や工場から出る産業廃棄物の2種類あります。一般廃棄物は日本全体で1年間に5,200万トン(東京ドーム約140杯分)、愛媛県では64万トン(東京ドーム約1.7杯分)出ています。これにくわえて産業廃棄物は愛媛県で年間970万トン(東京ドーム約26杯分)も出ています。ずっと増え続けていた愛媛県の家庭ごみ(一般廃棄物)の排出量ですが、平成13年度はほんの少し減りました。とはいえ安心はできません。なぜならごみを燃やすとダイオキシン(6ページ参考)や二酸化炭素などが発生し環境を悪化させたり、燃えないごみやごみを燃やした後の灰を埋め立てる最終処分場のスペースにも限界があるためです。これからはごみを減らす(リデュース)、ごみにせず再使用する(リユース)、ごみを資源として活用する(リサイクル)方法を今まで以上に考えていく必要があります(16ページ参考)。



**注意 2 エネルギーの資源って無限じゃないんだよ!**

石油や石炭などは、地球にある大切な資源。その資源には限りがあります。つまり石油や石炭などの化石燃料は、いつかは無くなってしまいます。

でも、「電気があるから大丈夫!」と思っている人はいますか? 実は電気を作るためには、石油や石炭などをたくさん使うのです。だから化石燃料が無くなったら十分な電気も作れなくなってしまいます。そこで電力の分野では化石燃料を使わず、原子力や太陽光、風力を使った発電などが進められています。愛媛県にも伊方町に原子力発電所があります。そしてなにより一番大切なことは、私たちがエネルギーのむだづかいをしないことです。



**注意 2**  
 冷蔵庫のとびらが少しあいて冷たい空気がもれているよ。これって電力のむだづかいじゃない?

**注意 2**  
 りくちゃん一人がすすわっているだけなのに、こんなに広い電気カーベットって必要なの?

**注意 1**  
 ジュースやお菓子のごみがいっぱい出ているよ。このごみ、どうするつもりなのさ!

**注意 1**  
 あーあ、ごみがこんなにいっぱいたまっている。ちょっとごみが多くないかな?

**注意 2**  
 おっと! さっきまでうみくんが遊んでいたゲーム、電気がつけばなしだよ!